

第3回 利根川河口堰魚道改築懇談会の開催について

記者発表資料

「利根川河口堰魚道改築懇談会」は、利根川河口部における望ましい魚道整備のあり方について、学識者、河川管理者、水産行政及び水産関係者による意見交換を行い、魚道改築の基本構想をまとめることを目的としています。平成15年9月17日に第1回目の会合が開催され、現魚道の問題点を中心に議論がなされました。また、平成15年11月26日に開催された第2回会合では、魚道改築の基本方針案等について議論がなされました。

懇談会は今回の第3回を最終回とし、これまでの議論を踏まえた上で魚道改築の基本構想（案）のとりまとめを行う予定です。

この第3回目の懇談会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

開催日時 平成16年2月18日（水） 13:30～16:00

開催場所 鹿島セントラルホテル
住所：茨城県鹿島郡神栖町大野原4-7-11
電話：0299-95-5511

その他

- ・マスコミによる写真・テレビ撮影は、懇談会開催冒頭の挨拶までとし、審議中は非公開とさせていただきます。懇談会終了後に委員長と事務局による記者発表を行います。
- ・傍聴希望者に対しては、傍聴席をご用意していますが、会議中の発言はご遠慮ください。

平成16年 2月12日

独立行政法人 水資源機構
国土交通省関東地方整備局

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	さいたま新都心記者クラブ	横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会	千葉県庁県政記者クラブ	茨城県庁県政記者クラブ
水資源記者クラブ	銚子市政記者クラブ	鹿嶋市政記者クラブ

お問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 利根川河口堰管理所
〒289-0611 千葉県香取郡東庄町新宿2276
電話 0478-86-0477（代）
所長代理 : 解良 一夫
国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所
〒287-8510 千葉県佐原市佐原イ4149
電話 0478-52-6361（代）
工事施工管理官 : 川村 俊一
広域水管理課長 : 深沢 正彦

利根川河口堰魚道改築懇談会の設立趣旨

水資源開発公団 が管理する利根川河口堰の魚道は、昭和 46 年当時、魚道に関する知見を集約した最先端のものとして建設されました。しかし、管理開始から既に 32 年を経過し、近年の河川環境保全の取り組み、魚道技術の進展から、現魚道の機能向上を図る必要性を認識しております。

よって、利根川河口部における望ましい魚道整備のあり方について、学識者、河川管理者、水産行政及び水産関係者による意見交換を行い、魚道改築の基本構想をまとめることを目的として、利根川河口堰魚道改築懇談会を設立するものです。

平成 15 年 9 月 17 日

水資源開発公団は、組織変革に伴い、平成 15 年 10 月 1 日より独立行政法人水資源機構になりました。

利根川河口堰魚道改築懇談会規約

(名称)

第一条 本会は、「利根川河口堰魚道改築懇談会」(以下、「懇談会」という)と称する。

(目的)

第二条 懇談会は、利根川河口部における望ましい魚道整備のあり方について、学識者、河川管理者、水産行政及び水産関係者の間で意見交換を行い、魚道改築の基本構想をまとめることを目的とする。

(懇談内容)

第三条 前条の目的を達成するため、懇談内容は次の事項とする。

1. 利根川河口堰の現魚道に関する事
2. 利根川河口堰の魚道改築に関する事
3. その他

(懇談会の構成)

第四条 懇談会は、別表に掲げる委員により構成する。

(開催時期)

第五条 懇談会は今年度限りとし、年度内に三回開催することを原則とする。

(事務局)

第六条 懇談会の事務局は、独立行政法人水資源機構利根川河口堰管理所に置くものとする。

(規約改正)

第七条 この規約を改正する必要がある場合は、懇談会構成員の2 / 3以上の合意を得て改正することができるものとする。

(付 則)

- (1) この規約は、平成15年9月17日から施行する。
- (2) 平成15年10月1日の組織変更に伴い、水資源開発公団を独立行政法人水資源機構に変更する。

(別表)

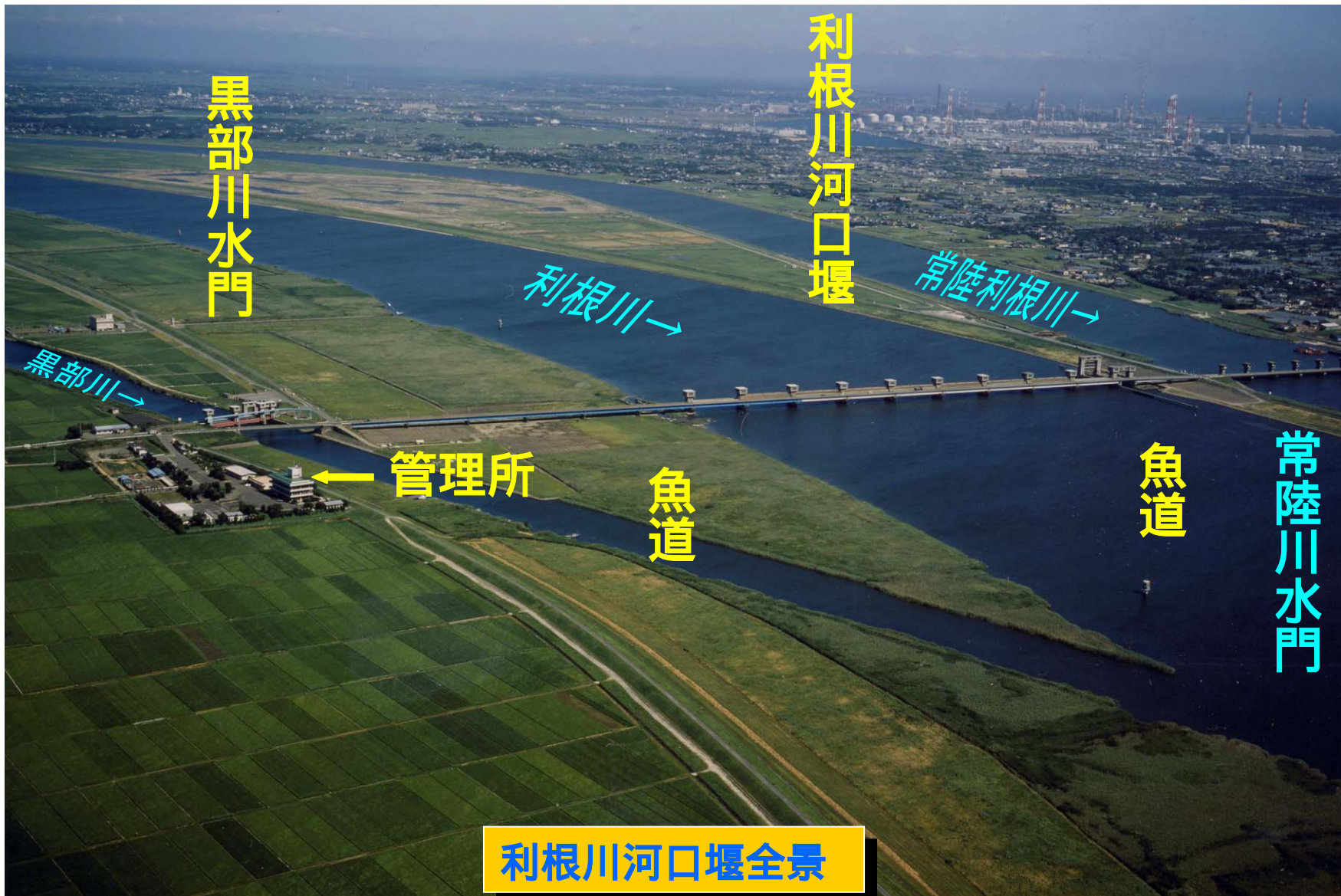
利根川河口堰魚道改築懇談会委員構成

氏名	所属	備考
椎貝 博美 和田 吉弘 糠谷 隆 川名 順之	(社)日本河川協会会長 中部学院大学短期大学部 副学長 千葉県立大利根博物館学芸課長 千葉県農林水産部水産局漁業資源課主幹 兼 栽培推進室長	河川工学 動物生理生態学 河川環境(魚類) 水産行政
別井 一栄 福富 則夫 深山 正巳	茨城県農林水産部漁政課技佐 栃木県農務部生産振興課主幹 内水面 15 号漁協組合代表 手賀沼漁業協同組合代表理事組合長	水産行政 水産行政 水産関係者
斎藤 邦彦 椿 長雄 滑川 幸男 小沼 洋司 田代 行男 加藤 宏典 横山 茂	笹川漁業協同組合代表理事組合長 印旛沼漁業協同組合代表理事組合長 中利根漁業協同組合代表理事組合長 茨城県内水面漁業協同組合連合会専務理事 常陸川漁業協同組合代表理事組合長 栃木県漁業協同組合連合会理事 栃木県下都賀漁業協同組合代表理事組合長	千葉県水産関係者 千葉県水産関係者 千葉県水産関係者 水産関係者 茨城県水産関係者 栃木県水産関係者 栃木県水産関係者
池田 隆 泉田 武宏	国土交通省利根川下流河川事務所長 水資源機構利根川河口堰管理所長	河川管理者 (事務局)

: 委員長

利根川河口堰の概要

参考資料3



利根川河口堰

施設の概要

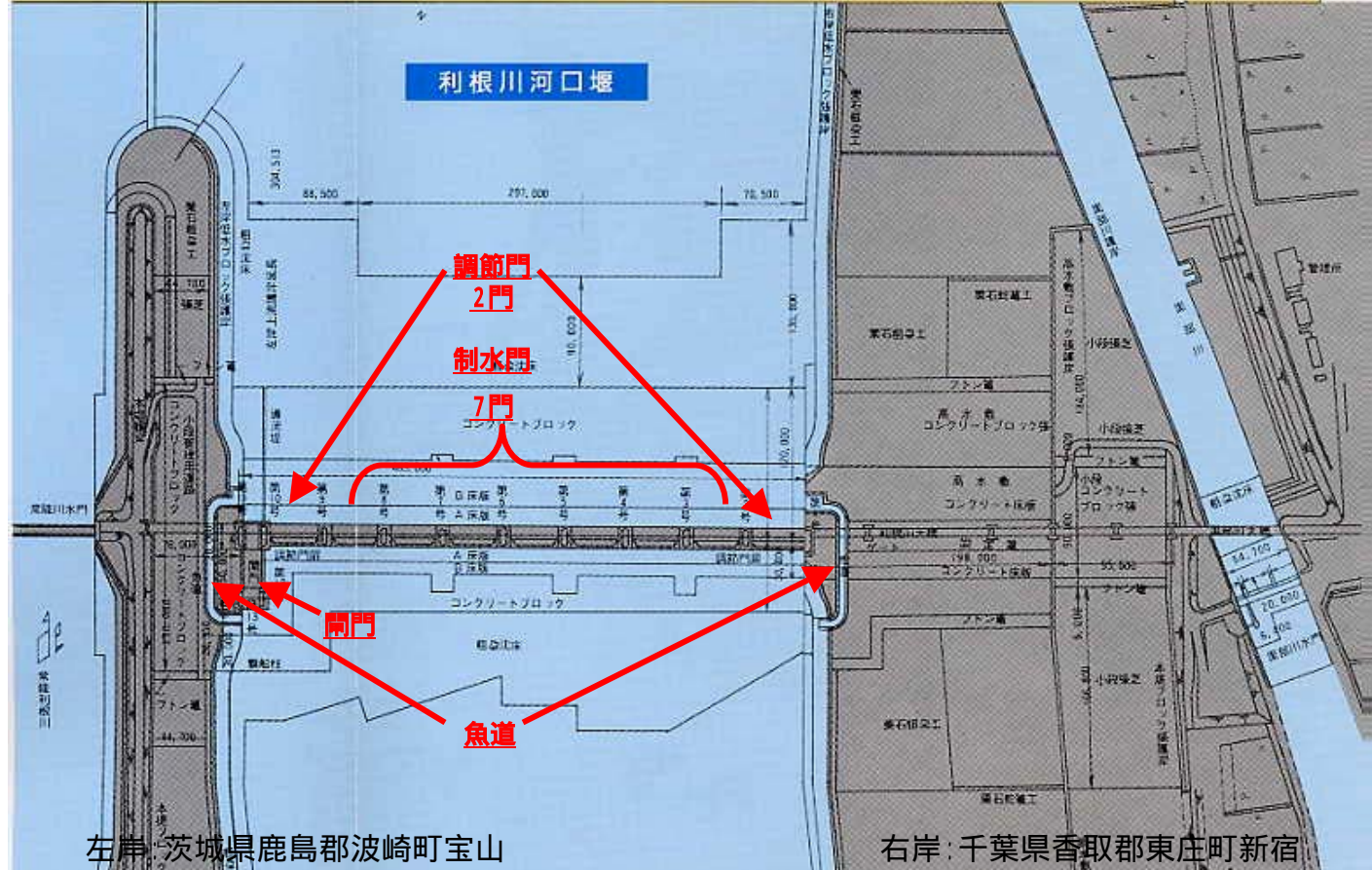
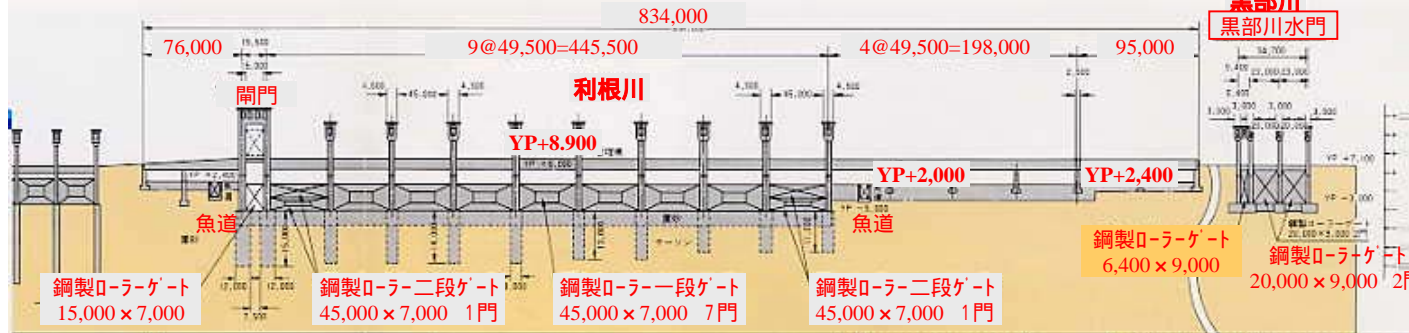
昭和40年12月 着工
 昭和46年 6月 竣功
 総工費 約125億円

<利根川河口堰>

総延長 : 834m
 (可動部 465m、固定部 369m)
 ゲートタイプ : 鋼製ローラーゲート
 径間45m、高さ7m
 ゲート数 : 9門
 閘門 : 1ヶ所
 魚道 : 左右岸各1ヶ所

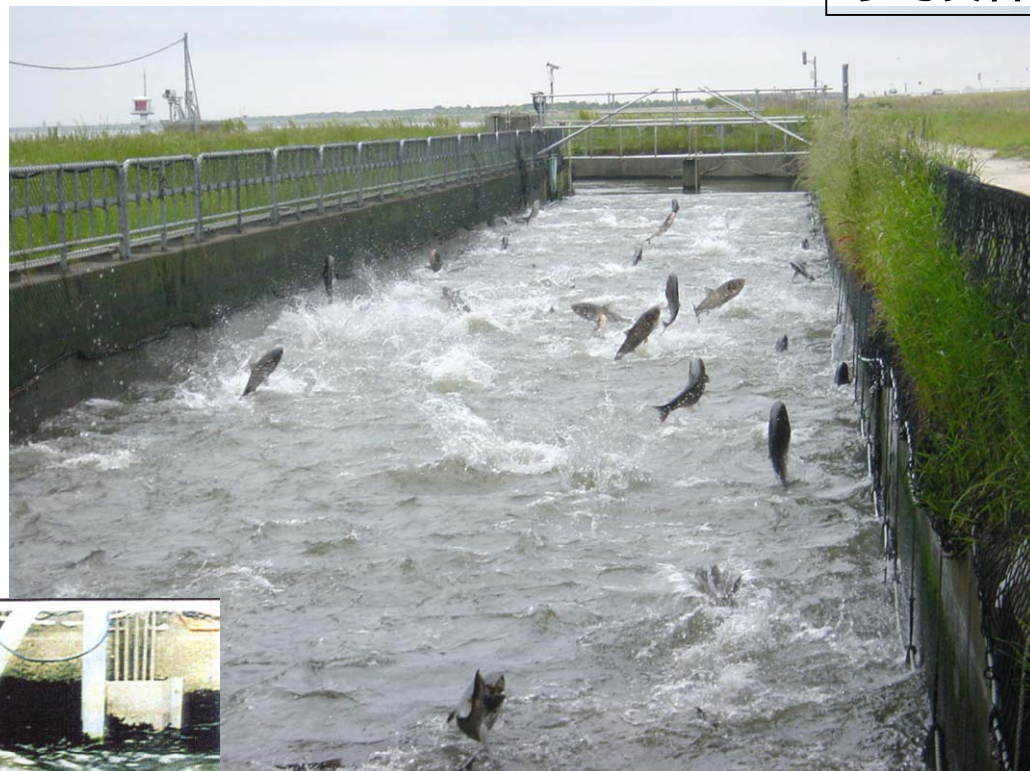
<黒部川水門>

総延長 : 54.7m
 ゲートタイプ : 鋼製ローラーゲート
 径間20m、高さ9m
 ゲート数 : 2門
 閘門 : 1ヶ所

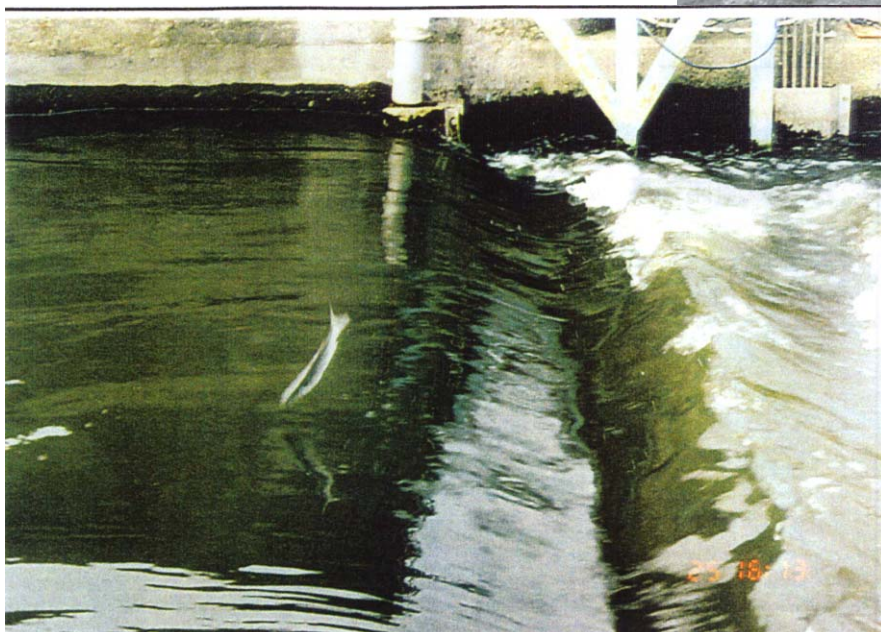


魚道

左右両岸に1ヶ所ずつ設置されている魚道は、呼び水式階段魚道と呼ばれるタイプの魚道で、幅は7.5m、7門のフラップゲートと7つのコンクリート隔壁を取り付けてあり、堰の上下流の水位差に関係なく一定の流速となるように調節し、魚の遡上を助けています。



ボラ遡上状況 (H11.5撮影)



ハクレン遡上状況 (H14.5撮影)



第3回利根川河口堰魚道改築懇談会 開催場所のご案内

鹿島セントラルホテル

(住所) 〒314-0144

茨城県鹿島郡神栖町大野原 4 - 7 - 11

(電話) 0299-95-5511



- 自動車 : 東関東自動車道 潮来インター下車
水郷有料道路経由 R124 と合流してすぐ右手
- 高速バス : 東京駅八重洲口 - 鹿島神宮駅行「かしま号」
鹿島セントラルホテル前下車
- 電車 : 最寄り駅 JR 鹿島線・潮来駅
駅よりタクシー